

1月 9日(水) 19:00～ 第5回役員会(会場/なごやかサポートみらい事務所)

自立支援事業 **第3回なごやかサロン**

なごやかサロンとは、社会的養護当事者・支援者が気軽に参加して、なんでも相談できる自立を支援するための事業です。どんな御悩み事でもOK。まずは気軽に参加して先輩達に相談しましょう！

日時/2月9日(土) 10:00～16:00 参加費・相談料/無料

会場/名古屋市北区西志賀町5丁目13番地の1 司マンション101号

黒川駅3番出口より徒歩10分駐車場はありません。コインパーキングをご利用ください。

会員さんも
参加
できます。

2月 9日(土) 16:00～ 第6回役員会(会場/なごやかサポートみらい事務所)

3月 6日(水) 19:00～ 第7回役員会(会場/なごやかサポートみらい事務所)

2月～3月 **記念品贈呈事業**(みらい募金を活用)

みらい募金にご協力お願いします！

皆様、いつも大変お世話になっております。この場を借りて、御礼申し上げます。毎年、東海三県内の児童養護施設を巣立つ約150名の子どもたちに対して、記念品(団体名入りのボールペン)をお贈りしています。困ったときや悩んだときは当団体に遠慮なく、頼ってほしい！という願いを込めて、10年前に事業をスタートさせました。毎年何名かの当事者が事務所に訪れ、様々な相談をしたり、話をしてくれます。そこから見える問題は本当に深刻なことは言うまでもありません。経済的なこと、仕事のこと、人間関係のこと、親のこと、育った施設のこと等々。本当に様々です。ですが、当事者の人たちは問題に真正面からしっかり向き合い、自分にできることは何かを常に考え、前向きに生きていることをものすごく実感しています。社会的養護の下で育った子どもたちが安心して社会で暮らせる一つとして、我々団体が寄り添い、支え合うことで少しでも人生のお手伝いができたら幸いです。皆様方からのあたたかいご支援、ご協力を重ねてよろしくお願い申し上げます。



なごやかサポートみらい 理事長 蛭沢 光

みらい募金へのご協力をお願い致します！

年度末には施設や里親家庭等を巣立って、就職・進学する子どもたちへ当法人から記念品を贈呈する事業を行う予定です。

【お振込先】

三菱東京UFJ銀行 黒川支店
普通口座 0126496
特定非営利活動法人なごやかサポートみらい
理事長 蛭沢 光
トクヒナゴヤカサポートミライ リジチョウ エピサワ アキラ

皆様からのあたたかい気持ちをお願い致します。

1月9日現在会員数
正会員46名・準会員24名 70名



特定非営利活動法人
なごやかサポートみらい

〒462-0058
愛知県名古屋市北区西志賀町5丁目13番地の1
TEL (052) 718-7188
E-mail info@nagoyakamirai.com
http://www.nagoyakamirai.com



〒462-0058
愛知県名古屋市北区西志賀町5丁目13番地の1
TEL (052)718-7188
E-mail info@nagoyakamirai.com
http://www.nagoyakamirai.com

みらい通信 39 平成31年1月9日(水)発行
みらい通信は、当会の活動を会員さんや関係者の
方々に知っていただくために作成し、お送りいたします。

発行者 蛭沢 光

謹賀新年



- 10月13日(土) 10:00～ 第1回なごやかサロン(会場/なごやかサポートみらい事務所)
- 13:00～ わくわく集会(会場/なごやかサポートみらい事務所)
- 16:00～ 第3回役員会(会場/なごやかサポートみらい事務所)
- 12月 8日(土) 13:00～ 第2回なごやかサロン(16:00まで)
- 16:00～ 第4回役員会(会場/なごやかサポートみらい事務所)
- 19:00～ 忘年会(源起ハツラツ食堂 マルハチ)

**自立援助ホーム
いっぼの活動報告**

子ども達がいつでも頼れる場所を目指して！



ユニバーサルスタジオジャパンで乗り物に早く乗りたくて走る子どもたち

最近の自立援助ホームいっぼの様子をお知らせします。12月に家庭復帰した子どもがおりました。また1月には自動販売機の設置の仕事をしながら、一人暮らしを始める子どももおります。いっぼを出ることには色々なカタチがあり、その子にとって一番良いカタチを考え、児童相談所や関係者で話し合いを重ねて決定していきます。いっぼを出てから、子どもたちはどんな壁があるのか？それは共通することが一つあります。どんな場合でも自立には時間がかかること。一人でも何でも出来るのは良いことのように思いますが、10代、20代前半のうちは仕事をしながら、家事をしていくことになれず、一人暮らしの寂しさに耐えることが難しいです。これは施設で暮らす中では身につけにくい力です。だからこそ、いっぼを出た後が本当の意味で自立できる力を育てられるのではないかと感じております。いっぼを出てからも頼りたい時に頼れる。そんなホームを目指しつつ、日々子どもたちとの関係を深めていきます。しかし、子どもたちはいっぼで3年も暮らしません。短い時間の中では関係を構築していくことは難しいですが、そこに自立援助ホームで働くことのやりがいも同時にあります。子どもたちが自立していく姿を見送るたびに、また頑張ろうと思えます。また応援して下さる皆様からの声援も力になります。今後ともいっぼの子たちの成長を見守りください。



自立援助ホームいっぼ 職員 青木佑磨

子どもの数:5名/職員数:17名/ボランティア数:9名/支援の会会員数:22名/協力雇用主:7社(1月1日現在)

